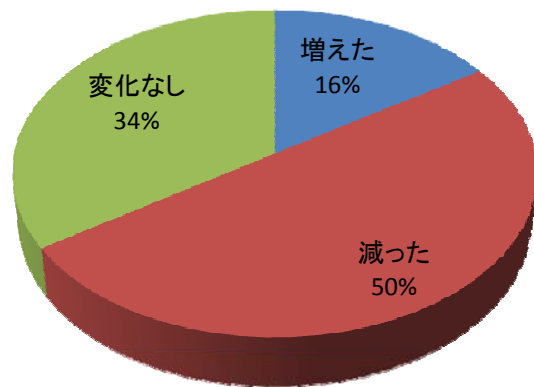
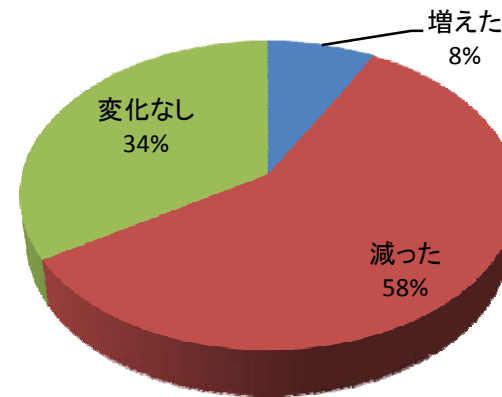


## Ⅸ. オークション利用の収益に与える影響

収益の変化  
(オークション利用)



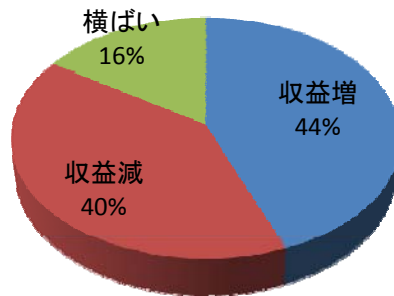
収益の変化  
(オークションなし)



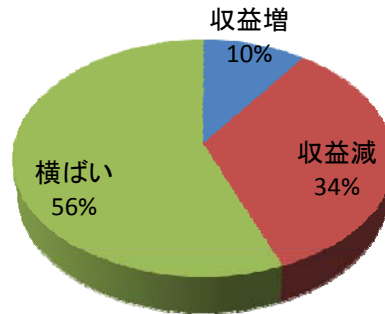
- ①調査結果で見ると、オークション利用者は利用しない業者に比べ、法施行以前より収益が減ったと感じている割合は少ないが、それでも半数の事業者は収益減を訴える。
- ②収益増と回答した業者の割合はオークション利用者に多いが、その差は8%であり、資源市況の高騰によるものかオークション仕入れによるものか不明である。
- ③従業者数が多い事業者においては、一定の稼働率を確保する必要があることから、競争力のある価格さえ出せば車が仕入れられるオークションは、主に規模の大きい事業者によって多く利用されるということが出来る。

## X. 国内部品販売の収益性 その1

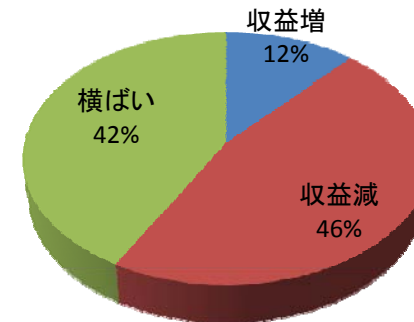
国内部品30%増



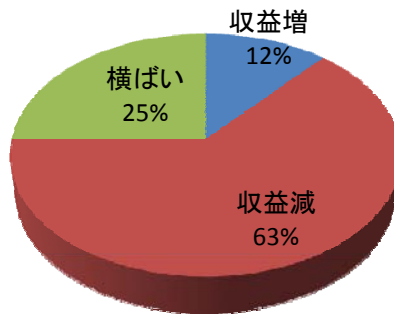
国内部品10%増



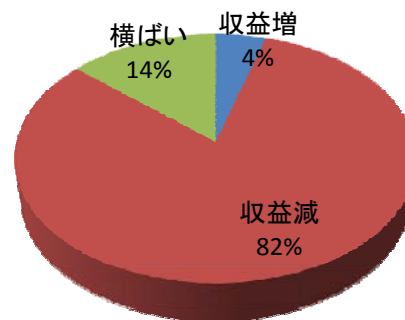
国内部品横ばい



国内部品10%減



国内部品30%減



- ①素材価格の高騰の中にあっても、国内部品販売を強化した業者ほど収益増傾向にあり、その逆は収益を減らしている。
- ②調査時点(08年10月)では、資源市況の大暴落が進んでいるが、国内部品は比較的ほかのファクターの影響を受けにくい部門であり、国内部品に力を入れてきた事業者はより安定した経営をしている。